

## 【エクアドル経済：2011年5月】

### 1. 国内経済

#### (1) キト地下鉄建設プロジェクト

28日、コレア大統領はキト地下鉄建設案件(Proyecto Metro de Quito)に関する大統領令第750号に署名し、政府の支援を確約した。キト地下鉄建設は2012年7月着工、2015年7月竣工を予定している。総工費は13億8600万ドル(当館注:大統領令第750条第二条に基づき、中央政府が右総工費の半分を負担し、残り半分はキト市が負担する)。地下鉄はキトゥンブレ(市南)～サンフランシスコ(市北)までの総延長23kmに及ぶ。現在、2時間の行程が16分に短縮できる。

#### (2) 外務省輸出投資促進所(Pro Ecuador)開設

31日、外務省輸出投資促進所(PRO ECUADOR)が開設された。同所は輸出促進、海外投資誘致、海外市場の調査等を行う。

### 2. 対外経済

#### (1) 対中露関係

30日、受注請負業者である中国水利申力対外公司(以下CWE)はトアチ・ピラトン水力発電所(Toachi Pilaton:キト＝サントドミンゴ間)の建設を開始した。催された着工式には、グラス戦略部門調整大臣、アルボルノス電力代替エネルギー大臣、バロハ・ピチンチャ県知事、及びYuan Guisen 在エクアドル中国大使が出席した。

右総工費は総額5億1700万ドル。うち1億2320万ドルは露輸銀が融資し発電所機材を供与する。2億5千万ドルは社会保障庁銀行(BIESS)が償還期間20年・猶予期間4年で融資する。残りの1億4,380万ドルは当国財務省が出資することとなっている。3年8ヶ月後(2015年初旬)の竣工を予定している。完成すれば国内電力消費量の6%に相当する254Mwの電力を供給することが可能となる。

#### (2) ヤスニITTプロジェクト

20日、ガルシア・ペルー大統領が当国を訪問し、ヤスニITTプロジェクトにペルー政府として総額30万ドルを拠出すると発表した。